

事前評価書

年度	令和3
整理番号	

事業名・路線名等		道路改築事業 <small>しゅうちほうどう たけたごかせん にゅうた</small> 主要地方道 竹田五ヶ瀬線(入田工区)	事業主体	大分県
所在地		<small>たけたし おおあざにゅうた</small> 竹田市大字入田		
事業概要	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 幅員狭小、線形不良の解消による通行車両の走行性、安全性の向上 湧水群や河川プールなど観光施設へのアクセス強化 歩道整備による歩行者の安全性確保、通行車両の走行性向上 		
	事業内容	<p>【計画延長・幅員】 L=970m(現拓)、W=6.0(9.75)m</p> <p>【道路区分】 第3種第3級 【設計速度】 V=40km/h 【計画交通量】1,100台/日 (令和12年推計)</p> <p>【現況幅員】 最小W=6.0m(路肩含み) 【重要構造物】-</p> <p>【交通量】 自動車 1,216台/日(平成21年実測) 歩行者 53人/日(令和3年実測)</p>		
	事業費	C=870百万円		
事業の実施計画	完成予定年	着手から7年(令和10年度)		
	事業段階毎の実施計画	<p>1年目 測量、道路詳細設計</p> <p>2年目 河川護岸設計、用地測量</p> <p>3年目 用地補償</p> <p>4年目 用地補償、道路工事</p> <p>5年目 用地補償、道路工事</p> <p>6年目 道路工事</p> <p>7年目 道路工事</p> <p>完成</p>		
事業の必要性	必要性・緊急性	<ul style="list-style-type: none"> 幅員狭小(路肩なし)、線形不良により通行車両の走行性が低い 周辺観光地(河宇田湧水、中島公園河川プール)へのアクセスルート 祖峰小学校への通学路に指定されているものの、歩道未整備により歩行者の安全性が確保されていない 		
	整備効果	<ul style="list-style-type: none"> 幅員狭小、線形不良の解消による、通行車両の走行性、安全性の向上 観光地へのアクセス強化 歩道整備による歩行者の安全性確保、通行車両の走行性向上 		
事業手法・工法の妥当性	費用便益分析	<ul style="list-style-type: none"> 費用便益比(B/C)=0.3 ※参考値 (通行困難区間の解消(一次改築)であり、交通安全の観点からも評価) 		
	工法の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 道路法、河川法、道路構造令等に適合した工法を採用 複数案の比較検討を行い、最も経済的なルートを選定 		
	コスト縮減	<ul style="list-style-type: none"> コンクリート、砕石は再生材を利用 建設発生土を盛土材に利用 		
環境等への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 現道拡幅であり、地形の改変による影響は小さい 建設発生土について、現場内流用を基本とし、余剰分については他の公共事業等への流用を行う計画 低騒音・低振動対応の建設機械の使用により、生活環境に配慮する 			
事業実施環境	事業の実効性	<ul style="list-style-type: none"> 竹田市及び入田地区道路期成会から要望書が提出されており、地元の協力体制は整っている 		
	事業の成立性	<ul style="list-style-type: none"> 道路法第15条に基づき事業を実施 『安心・活力・発展プラン2015～2020改訂版～』、『おおいた土木未来プラン2015(改訂)』、『おおいたの道構想2015～改訂～』に基づき事業実施 社会資本整備総合交付金交付要綱に規定された事業内容、採択基準の要件に適合 		
	事業の特殊性	<ul style="list-style-type: none"> 迂回には時間を要する(約15分)ため、施工中の交通規制等に配慮した施工計画を策定する 		
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> 以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい 			

事業箇所位置図

